

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary
District 2790



2021
May

5

ガバナー月信
Vol. 11

Copy for members

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



鯉水揚げ日本一、大型漁船が列をなし入港、荷捌場が戦場と化し全国へと旬を届ける。

日本のロータリー 100 周年

土屋 元作(大夢) (1866 ~ 1932)

大分県出身。軍人の子として成長、20歳を過ぎて渡米し苦学を続ける。シカゴ万博にて手伝いをする折に米山梅吉と出会い、親交を重ねる。帰国後は時事新報社に入社、ジャーナリストとして活躍。大夢(たいむ)というニックネームは、新聞のタイムズをもじって付けたという。

大阪ロータリークラブに入会、その発展に寄与した。1928年開催の太平洋ロータリー大会において、二宮尊徳を、「ロータリー以前の偉大なロータリアン」と称し、ロータリー運動は決してアメリカ発祥の思想ではなく、日本に元来根付いている道徳精神でもあると説いた。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 漆原 摂子

地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

ロータリー特別月間／青少年奉仕月間



ロータリーは機会の扉を開く

青少年奉仕月間によせて



国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 撰子 (勝浦 RC)

次年度へ向けて

さて5月となり、私のロータリーにおける年度もあと2ヶ月を切りました。梶原等ガバナーエレクトは、緊急事態宣言発令中、そして3月中旬の解除後、地区チーム研修セミナー及び会長エレクト研修セミナーを、一部規模を縮小されながらも、オンラインを導入して見事に実施されました。また今年度のガバナー補佐の皆様には、担当するクラブの課題や問題点を挙げていただき、引き続き改善に取り組んでいただいておりますが、この情報も梶原ガバナーエレクトそして次年度ガバナー補佐の皆様とも共有させていただき、サポートを必要とされるクラブのお役に立ちたく考えております。

青少年育成プログラム

今月は青少年奉仕月間です。5大奉仕部門の最後に、2010年に正式に導入された青少年奉仕（当時は新世代奉仕）は、青少年育成プログラムを通じて若者の成長を促し、彼らが地域社会や世界において、より良い変革をもたらすことを目標としています。具体的なプログラムとして当地区では、青少年交換をはじめ、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) を実施。以前はこの中にローターアクトも含まれていましたが、一昨年の規定審議会を経てローターアクトクラブもロータリークラブと同等の扱いをするという決定のもと、正規の青少年プログラムから外れています。

当地区の現況

さて当地区には、14のインターアクトクラブ、6つのローターアクトクラブがありますが、CORVID-19の影響下、年次大会や国外研修を中止とする、あるいはオンラインで実施せざるを得ない状況でした。RYLAにつきまして

は、本年2月の開催予定を止む無く断念、青少年交換におきましても、今年度に続き次年度(2021-22年度)の実施が中止となり、候補生の学生さんの落胆はいかばかりかとお察し申し上げます。そして何よりも、これらのプログラムに携わっていただきました各委員会の皆様には、困難な状況の中でのご対応に、感謝を申し上げます。CORVID-19が終息を迎え、再び地域や世界を自由に移動出来る状況を、期待を込めて待ちたいと考えます。

東日本大震災被災地復興チャリティコンサート

そんな中、当月信の裏表紙にご報告の通り、ロータリー希望の風奨学金へのチャリティを目的としたコンサートが、当地区ロータリー学友連絡小委員会主催のもと、3月21日に、オンライン配信とリアルハイブリット形式で開催されました。このコンサートは、ロータリーの青少年育成プログラム参加者、あるいは元ロータリー財団奨学生、元米山奨学生といった、様々なプログラムを経験したロータリー学友と呼ばれる方々を中心に、国や年代を超えた多様性からなるパフォーマンスで構成されました。

特に今年は年度当初より、私の希望で、学友会の横の繋がりの強化をお願い致しました。そのため、ロータリー学友連絡小委員会の井上大輔委員長と委員の皆様、また奨学生・学友小委員会の富一美委員長と委員の皆様には、他地区の学友会活動の事例研究にお取り組みいただきましたことに改めて御礼を申し上げます。また今年で10年の節目を迎えます、東日本大震災の被災遺児を支援するための、ロータリー希望の風奨学金への支援を考えておりましたが、今般、当地区でも初めての試みとなる、このようなチャリティコンサートを実施していただき、学友や委員の皆様には、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

今回のこのコンサートが、学友の交流や結束に発展し、次からは学友会や青少年が主導してイベントを企画実施し、他人を思いやり他人のためになることをするための機会となりますことを祈念申し上げます。

第3グループ IM 報告



「ポリオから学んだこと」
2021年2月15日(月)

ガバナー補佐
第3グループ担当

藤澤 武彦(千葉RC)

2021年2月15日、三井ガーデンホテル千葉で開催しました。

国際ロータリー認定のポリオサバイバーで、第2770地区パストガバナー小林操会員(越谷北ロータリークラブ)に「ポリオから学んだこと」と題して基調講演をお願いしました。緊急事態宣言再発令下でありましたが、感染防止対策を十分とり、会場とZoomによるライブ配信を組み合わせたハイブリッド形式で開催しました。

小学校1年生でポリオに罹患し、その後のお母様はじめご家族、ご自身の過酷な闘病生活を振り返りながら、ポリオ根絶に対する強い思いを語られた。ポリオと宣告された時の医師の冷たい対応にも触れられ、過酷な医療現場を経験してきた私も医師の一人として大いに考え

させられました。低周波治療のため千葉大学病院に世田谷から通われていたこともお聞きし、少しホッとする思いもありました。

高校は吉永小百合と同じ駒場高校で、卓球に打ち込まれた様子を話されたとともに、今後は野生型ポリオの根絶に向けて積極的に活動していきたいと述べられました。

国際ロータリーが認定したポリオサバイバー3人のうちの1人である小林会員の話は一言ひとことが迫力と説得力に富み、大変感銘深い講演でありました。当地区同期ガバナーの諸岡靖彦パストガバナーにもご参加いただきました。最後にZoomでご視聴いただいた漆原摂子ガバナーに総評を頂き閉会としました。

会場およびZoomで参加いただいた全ての方々に深く感謝申し上げます。



第13グループ IM 報告



「インターシティ・ミーティング報告」
2021年3月2日(火)

ガバナー補佐
第13グループ担当

山田 正記(松戸西RC)

2021年3月2日に、第13グループのIMを森のホール21小ホールで開催しました。当日は、緊急事態宣言中であったので、ハイブリッド方式で行いました。参加者は、リアル参加53名、Zoom参加42名、合計95名でした。

私の挨拶の後、5クラブの現会長から次年度会長の紹介がありました。

その後、小倉純夫ガバナーノミニーから「これからのロータリークラブを考える」と題した基調講演がありました。その中で、小倉ガバナーノミ

ニーは、ロータリーの現在、過去、未来に渡り、ご自身の経験と守るべき理念について予定時間をオーバーし、1時間20分熱く語られました。

その後、森谷博直前ガバナー補佐に感謝状贈呈と挨拶、織田信幸次年度ガバナー補佐の挨拶、待山克典次年度ホストクラブ会長挨拶と続き、最後に浅野実IM実行委員長の御礼の挨拶で終了となりました。

なお、漆原摂子ガバナーもZoomで視聴されました。



DLP導入に伴うグループ再編について

(DLP：地区リーダーシッププラン)

国際ロータリー第 2790 地区
2020-21 年度 ガバナーノミニニー・デジグネート
2021-22 年度 グループ再編会議 議長

鵜沢 和広 (千葉若潮RC)



我々を取り巻く環境は常に大きく変化し続けています。1995年の阪神・淡路大地震を期にインターネットが普及してIT時代に突入し、2011年の東日本大震災での原発事故後には原発の廃止と地球温暖化対策から自然エネルギーの利用やカーボンニュートラルへの動きが加速してサステナブルな社会を目指すようになりました。ロータリーの重点分野に「環境」が加わったことから、今後我々人類が地球上で繁栄し続ける為の最も大きな課題であると思われれます。そしてCOVID-19によりテレワークやオンライン会議などが普及して時間の使い方や人の関わり方に変化が始まっています。ロータリーの例会方法も新しい取り組みの中で進化していくものと思われれます。

さて、比較的穏やかな（これは私感ですが）雰囲気が続いていた第2790地区でも今期はグループ再編問題とガバナー補佐選任問題でロータリー歴22年の私にとって初めてとも言える激震が走りました。上述の様に今回の件が当地区に変化をもたらす大きな転機になるかもしれません。これを機会に当地区の会員がDLPを肌で感じる様になりその内容や必要性について議論する様になって行く、つまり当地区にDLPを根付かせるきっかけになってくれると願っています。今回の件で大変頭を悩まされた立場の違う沢山のロータリアンの為にも是非そうであって欲しいと思います。本来2002年にRIはDLPの導入を義務化しましたが、当時は新しいクラブがどんどん出来ていく中でガバナー補佐にその管理・指導を任せガバナーが余裕を持って地区運営が出来るようにとの目的でDLPが策定されていった筈ですが、現在の日本地区はクラブ数や会員数が減少していますので状況は変わっています。しかしながら今はクラブがより活性化するよう導く為の地区の体制にDLPが必要となっています。日本国内のほとんどの地区では、過去その必要性は理解していても中々本腰を入れて取り組んで来なかった実情が有りました。当地区ではここ数年間水面下で議論

を繰り返しDLPの明文化もされております。これからはその内容について皆さんで理解をする時間を取って頂きたいと思います。梶原等ガバナー年度のガバナー補佐はガバナーの正式な補佐役としての責務が求められるでしょうし、小倉純夫ガバナーノミニニーがご自身の年度のガバナー補佐を選ばれるのも数か月後となります。DLPでは「グループ有りき」ではなくて「ガバナー補佐有りき」なのです。ガバナーが選んだガバナー補佐が管轄するクラブ群がグループです。そしてガバナー補佐は担当するクラブにクラブ活性化の為の長・中期的な計画を作成させクラブの問題点を掘り起こしクラブと共同して解決策を考えます。そして策定した計画が予定通り進んでいるかを検証していきます。

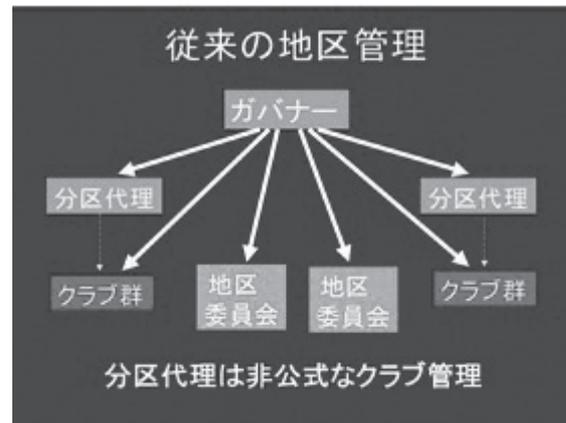


図1

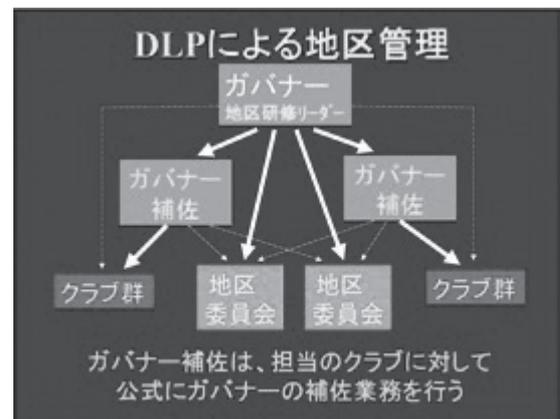


図2

図1のように今までの当地区のガバナー補佐は分
区代理的な地位にありましたがこれからは図2の
ようになります。このことをよくご理解いただき新
しくガバナー補佐になれる方は活動願います。で
すからグループの再編はそれ自体が目的ではなく、
あくまでもガバナー補佐の責任範囲を平準化するた
めにガバナー補佐1人当たりの担当クラブを調整
しようというものです。しかしながら、DLPの理
想はそうであっても今回の騒動から分かるように当
地区の実情から考えればやはりグループを固定化
してグループからガバナー補佐を推薦していただ
く方法が妥当だと思われま。地区内の会員の皆
さんにDLPを理解していただく前にDLPに舵を
切ったのは少し強引だったのかもしれない。しか
しDLPに移行することはRIから義務化されてい
ることです。地区はこれからの数年で地区内の皆
さんにDLPをご理解いただき浸透させるように努力
して参ります。そして次年度からはガバナー補佐の
方々に、よりDLPに則した形で活動をしていただ
き2023-24年度から新しいグループ編成でスムーズ
にスタート出来ますよう準備して参ります。

さて、地区グループ再編問題に戻りますが、この
再編の目的は1人のガバナー補佐が担当するクラブ
数を平準化させることが最大の目的です。DLPで
はガバナー補佐を先に決めてガバナー補佐が担当
するクラブ群がグループであってグループからガバ
ナー補佐を選出するものではないとしています。が、
実際にはグループからガバナー補佐を選出しなけれ
ば混乱すると思います。それで問題はガバナー補佐

各々が担当するグループ内のクラブ数はいくつぐら
いが妥当であるか？です。逆に言えば、何クラブで
あればガバナー補佐は効果的なクラブ管理出来る
か？です。ガバナーはガバナー補佐にクラブ管理に
対するそれなりの要求をします。それらを卒なくこ
なしていく為には何クラブ位が妥当であるかを検証
しなければいけません。梶原ガバナー年度でそれ
を見極めながらそして次年度ガバナー補佐の方々の
意見をもとに地区で議論して皆さんにご提案してい
きたいと思っております。そしてそれによってグル
ープ数が決定します。私の考えではグループ内のクラ
ブ数はなるべく平準化するべきと考えております。
その為には既存のグループの分割や合体は避けて通
れません。皆さんが慣れ親しんだグループ内クラブ
と別れることに対する不満は重々承知しております
が、RIからのDLP導入の要求とそれが地区の活性
化に繋がるとの信念から私も地区の執行部の一員と
して第2790地区会員の皆さんに地区グループ再編
へのご協力をお願い申し上げます。

当地区が2002年にRIがその導入を義務づけた
DLPの運用に手間取っている間にRIはロータリー
の未来形成(SRF: Shaping Rotary's Future)の委
員会を立ち上げ2030年を目途に地区の枠組みや組
織改革を行う事を発表しました。2022年の規定審
議会で可決される条件付きですが多分そうなるで
しょう。その全貌はまだはっきりしていませんが
RIは次の大きな改革を進めようとしています。ど
うか皆さん第2790地区が一丸となって未来を見据
えて準備をして参りましょう。

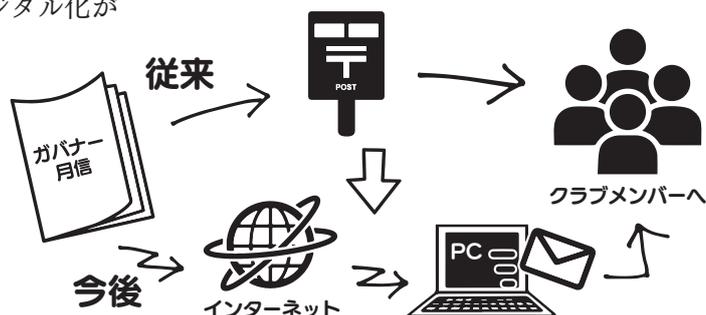
2021-22年度 ガバナー月信発行についてのお知らせ

昨年、ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は「環境の保全」を新たな重点分野として追加しました。また、カーボンニュートラルへの取り組みは世界の趨勢となりつつあります。当地区では2021-22年度より「環境の保全」の取り組みの一環として、ガバナー月信の完全デジタル化への移行にチャレンジします。ペーパーレス化は紙資源の保全、製造～廃棄過程でのCO2の削減効果が図れます。

また、IT普及により、様々な情報伝達もデジタル化が時代の流れとなりつつあります。

上期は印刷物の配布を極力減らしながらデジタル配信の併用とし、下期より完全デジタル配信に移行する予定です。今後もより多くの会員に読んでいただけるガバナー月信を目指してまいりますので、新しい試みへのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ガバナーエレクト 梶原 等



2020-21 スリランカクラブ活動報告書

国際ロータリー第 2790 地区 フェローシップ・親睦活動委員会
スリランカクラブ 会長 石井 弘 (松戸西 RC)



* 地区補助金事業報告

《スリランカ国アヌラーダプラ地域の学校・警察署
他施設への、簡易浄水器 60 基、交換フィルター・
カートリッジ等 250 セット寄贈事業》

コロナ禍の為、スリランカ国への渡航が禁止と
なった事から、スリランカクラブ協力団体コスモス
奨学金スリランカ現地事務局の皆さんにご協力を頂
き、浄水器の配布をして頂きました。現地ではアメ
リカから帰国した1人から1500人のクラスターが
発生すると言う過酷な状況の中で必死の配布作業を
して頂き、地区補助金事業を完了する事が出来まし
た。現地での配布作業に携わって頂きました皆様に
心より感謝する次第であります。
(写真は現地での配布状況です。)

八日市場 RC より委託されました産婦人科6か所
へ浄水器25基と交換フィルター50個の配布も完
了いたしました。併せてご報告させていただきます。



簡易浄水器 60 基



アヌラーダプラ地域の学校への浄水器寄贈



フィルター・カートリッジ等 250 セット



警察署他各施設への浄水器寄贈

*** 2020年10月17日管理運営統括委員会
三委員会合同セミナーへの参加**

- ◎クラブ奉仕・会員基盤向上委員会
- ◎広報・公共イメージ委員会
- ◎フェローシップ・親睦委員会

スリランカクラブ向後勝弘副会長（千葉 RC）より、スリランカクラブ設立の経緯、スリランカクラブの活動方針、現在のスリランカクラブの活動と自分自身がスリランカの貧しい子供達支援の為にスリランカ国を訪問し子供達と接して感動した報告をさせて頂きました。

初めてスリランカクラブの活動を知った方も多く、反響も大きく何人かの方よりスリランカクラブへの入会希望の連絡がありました。新しい仲間が増え更に活動の場を広げて行きたいと思っております。

発表の場を設定して頂きました三委員会の皆様に感謝申し上げます。



向後勝弘副会長の活動報告の発表

*** リモートでの日本語学校設置へ向けて**

日本語を勉強したくても貧しくて学ぶ事が出来ない子供たちの為に、3年前より日本語学校設置に向けて準備を進めてまいりましたが、コロナ禍の為現地への入国が不可となり、リモートでの日本語学校設置に向けて方針転換しました。ここ半年間をかけて準備を進め、現地日本語学校とリモートで実験授業を繰り返し IT 機材の選定調整も完了し、あとは日本側の基地局を決定する所まで来ました。必要経費の算出も出来ましたので来年度の地区補助金申請

を行います。目標としては8月迄に日本側基地局を決定し、11月より一年間模擬授業をスタートさせたいと思っております。

一年間かけて問題点を克服し、しっかりしたりモート日本語学校設置しスリランカの貧しい子供達に日本で勉強したいという夢を叶えてあげられる様に頑張りたいと思います。

ロータリアン皆様のご協力をお願い致します。



リモート授業を受けるスリランカの子供達

*** スリランカ現地とリモートで結んでクラブ
で卓話をしてみませんか。**

スリランカクラブでは、リモートでスリランカ現地とクラブを結んでの卓話を実施しております。

第一回目は八日市場 RC が4月に実施いたします。通訳には学友のサジーワニーさんが参加して頂きます。飛行機でも10時間かかる国とリモートで楽しく話してみませんか、皆様の卓話申し込みをお待ちしております。

【卓話お申し込み先】

ガバナー事務局

地区フェローシップ委員会

スリランカクラブ 会長石井弘

メール :20-21gov@rid2790.jp

FAX : 043-256-0008

日本のロータリー 100周年記念誌 刊行のお知らせ

2020-21年度 ロータリーの友委員会
地区代表委員 吉田 理愛

2020年10月20日、日本で最初の国際ロータリー直轄(スポンサークラブが存在しない)であるロータリークラブ、東京 RC(初代会長:米山梅吉、初代幹事:福島喜三次)が世界で855番目に創立されて100年を迎えました。これを記念して今年度、「日本のロータリー100周年記念誌」が刊行されます。記念誌には別冊「日本のロータリアン100人」も同時発行されます。これは100周年を記念してこの100年間、特に活躍されてこられたロータリアンを100名ご紹介するというものです。そして当2790地区からも御二方が選ばれました!大変に名誉あることで喜ばしく、嬉しく刊行を前にご紹介致します。

土屋 亮平 パストガバナー (松戸 RC)

生年月日:昭和6年8月30日生
最終学歴:慶応義塾大学法学部卒業
ロータリー歴:昭和38年7月松戸 RC 入会
[不動産業ビルディング賃貸]
昭和60-61年クラブ会長
昭和63-平成1年地区ガバナー



土屋パストガバナーは地区ガバナー就任時のあいさつとして「心に豊かさを一奉仕に未来を」即ち、「奉仕する側と奉仕される側との間に、心が通う奉仕」を心掛けましょう。このような心の触れ合いが、人の心を豊かにします。又、その奉仕は「花を咲かせ、実

を結ぶ様な奉仕」を求めよう、と述べられました。毎月のガバナー月信でのあいさつの冒頭は必ず、「親愛なるクラブ会長・幹事さんへ。」で始まりました。又、地区協議会の会長部会では「公式訪問にはロータリーの友人がお尋ねいたしますので、よろしく」とお約束しておりました。勿論、当時に私はまだロータリーに入会しておらずこれらは全て就任年度のガバナー月信を引っ張りだして見つけて来ました。するとどうでしょう。大きな声では言えませんが、私などからすると土屋パストガバナーは雲の上のお方、ちょっぴり怖いかも、という存在ですがなんとも温かいお人柄が文章からもれ溢れております。他にも「大きな未来への夢を描けるキャンパスは無限であります。」「ロータリアン同志の心と心の触れ合いがロータリーの奉仕の精神を磨きあげるので、す。」

そして年度移行時には、「譲り葉」の新芽でございます。温かく見守って育ててくださいますようお願いいたします。さればとて、古い葉は散り急ぐことではござ

いません。若い葉をすくすくと育て、立派な一人前になる6月30日を見とどけ、さり気なくサラリと散りましょう。と、まるで唄を詠むように記されます。最後の月信では「人が生きるということ」という永六輔氏の詩で結ばれました。

平山 金吾 パストガバナー (成田 RC)

生年月日:昭和10年2月28日生
平成26年12月27日ご逝去享年80歳
最終学歴:早稲田大学理工学部卒業
ロータリー歴:昭和57年9月成田 RC 入会
[建築]
平成3-4年クラブ会長
平成9-10年地区ガバナー



サブテーマとして「変革にチャレンジ」を提唱。そして行動は「寛容と友情を持って」行いたい。地区協議会に於いてクラブ活動計画書は前年度の蒸し返しでなく、会長さん委員長さんのやりたいことをまずは打ち出して下さいと述べられました。また、ロータリーの原理は多くの考え方の人、違った信仰をもつ人、文化の違う人が共に仲良くやっていく法則を見いだしたことにあります。まず「仲良しクラブありき」、そしてその地域になくはない団体として認めて貰うにはその地域にあったニーズを見だし、汗をだして奉仕活動をすることである。そして世界を結ぶ団体として持てる力を結集して、飢餓貧困にあえぎ、字が読めない、簡単な計算ができない事でもまともな仕事に就けない人たちに手を差し伸べてあげたい。と続けられました。又こうも述べられております。クラブの独自性をより発揮させながら、しかも国際感覚も養って行くことが肝心と考えます。よくだんだんと国際ロータリーの力が強くなり、クラブの独自性が発揮できないとの話がありますが、これはどちらかという逃げ口上で、独自性のある奉仕活動をし、地域で大変その存在感を発揮しているクラブもあります。どうぞご研究してみてください。景気が低迷し企業経営も困難が長期化しておりますが、お互いに職業奉仕の精神で初期の精神に立ち戻り、お互いに会員同士の取引等も増やし、それぞれの職業を活用しながら発展していきたい。

20年以上も前となりますが、今の時代でも拠り所となるお言葉です。

さて、私の拙い知識ではこの偉大な大先輩の魅力を伝える事は到底叶いませんが、本誌ではそれぞれ魅力溢れるお人柄をそれぞれ、伊原清良氏(松戸 RC)、近藤博貴氏(成田 RC)がご紹介して下さいます。今年度中には、ロータリーの友事務所よりお知らせ致しますので、是非、クラブで数冊お求めになる事をお薦め致します。又、過去のガバナー月信は、ロータリー文庫 HP から検索して閲覧できます。是非ともご利用下さい。

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



榎本 洋史
(柏西 RC)



斎藤 昌雄
(千葉南 RC)



森井 康夫
(市川東 RC)
8回目



水野 晋治
(柏西 RC)
8回目



関口 宏
(松戸西 RC)
7回目



始平堂玄昌
(千葉幕張 RC)
3回目



妻島不三二
(柏南 RC)
3回目



阿部 輝彦
(君津 RC)
2回目

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

新ポール・ハリス・フェロー



武田富士子
(君津 RC)
1回目



浅野 肇
(柏西 RC)
1回目



高橋 勝
(習志野中央 RC)
2回目



大野 繁雄
(市川東 RC)



福田 順也
(君津 RC)



佐々木昭博
(君津 RC)



飯島六兵衛
(旭 RC)



片山 慎一
(旭 RC)

ベネファクター

新ベネファクター



岡本 和也
(市原 RC)
1回目



大島 剛
(千葉幕張 RC)



岡本 秀男
(東金 RC)

米山功労者



関口 宏
(松戸西 RC)
17回目



金親 博榮
(千葉南 RC)
10回目



岡本 和也
(市原 RC)
5回目



植松 省自
(千葉南 RC)
4回目



宮内 龍雄
(銚子 RC)
3回目



飯島六兵衛
(旭 RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



芥川 誠
(千葉 RC)
税理士
2月 8日入会



塩入 英治
(千葉 RC)
ガス事業
3月 8日入会



末次 好英
(千葉 RC)
電気設備
3月 15日入会



池田 洋三
(船橋みなと RC)
不動産
3月 23日入会



上原 康永
(野田 RC)
葬祭業
3月 29日入会



道口 謙治
(千葉中央 RC)
証券業
4月 1日入会



渡辺 朗
(柏南 RC)
生命保険
4月 1日入会



大野加津子
(佐倉 RC)
飲食業
4月 2日入会



福田 博隆
(八街 RC)
地方銀行
4月 7日入会



柳澤 茂樹
(習志野 RC)
地方銀行
4月 7日入会



竹場真美子
(館山 RC)
ホテル
4月 11日入会



浅見健一郎
(千葉 RC)
製鉄業
4月 12日入会



原田 知明
(千葉 RC)
建築
4月 12日入会



小林 幹彦
(千葉 RC)
都市再開発
4月 12日入会



杉本 輝明
(千葉 RC)
生命保険
4月 12日入会



林 和男
(千葉 RC)
建築
4月 12日入会



佐藤 彰洋
(銚子東 RC)
地方銀行
4月 13日入会



山本 智
(柏 RC)
証券業
4月 14日入会



鈴木 哲也
(柏 RC)
地方銀行
4月 14日入会



江原 潤
(千葉 RC)
損害保険
4月 26日入会

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2021 年 3 月）

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	0.00	0	42	4	42	4	0
	市川東	0.00	0	39	2	37	1	△2
	市川南	88.00	2	23	2	20	2	△3
	浦安	60.00	2	43	2	42	2	△1
	市川シビック	78.78	1	33	0	32	0	△1
	浦安ベイ	71.40	3	13	2	14	3	1
平均	49.70	1.33	32.17	2.00	31.17	2.00	△6	
第2グループ	船橋	83.33	3	30	0	29	1	△1
	船橋西	0.00	0	28	5	25	5	△3
	鎌ヶ谷	78.26	1	26	1	27	1	1
	船橋東	85.71	1	27	2	24	2	△3
	船橋南	88.64	4	13	2	13	2	0
船橋みなと	73.33	1	14	2	16	2	2	
平均	68.21	1.67	23.00	2.00	22.33	2.17	△4	
第3グループ	千葉	100.00	5	98	5	103	6	5
	新千葉	100.00	1	53	0	56	0	3
	千葉西	75.24	5	51	5	47	5	△4
	千葉中央	100.00	1	26	0	25	1	△1
	千葉幕張	100.00	1	37	4	32	3	△5
	千葉東	62.14	2	23	1	24	1	1
	千葉若潮	59.52	1	31	1	33	1	2
平均	85.27	2.29	45.57	2.29	45.71	2.43	1	
第4グループ	千葉南	60.87	1	51	5	46	3	△5
	市原	43.21	2	59	5	63	6	4
	千葉港	47.83	1	25	3	25	3	0
	市原中央	75.61	2	45	1	47	1	2
	千葉北	64.07	4	30	4	32	4	2
	千葉緑	70.00	2	23	2	23	2	0
平均	60.27	2.00	38.83	3.33	39.33	3.17	3	
第5グループ	木更津	71.40	1	24	3	27	3	3
	上総	50.00	1	15	0	14	0	△1
	富津中央	68.75	1	36	5	35	5	△1
	木更津東	76.31	1	43	7	42	7	△1
	君津	74.54	1	57	5	53	5	△4
	袖ヶ浦	91.30	2	26	4	25	4	△1
富津シティ	85.00	2	12	1	11	1	△1	
平均	73.90	1.29	30.43	3.57	29.57	3.57	△6	
第6グループ	館山	74.60	3	49	4	48	4	△1
	鴨川	60.89	5	33	5	31	5	△2
	勝浦	75.00	4	42	5	40	5	△2
	千倉	75.00	1	4	2	4	2	0
	鋸南	76.92	2	13	2	13	2	0
	館山ベイ	0.00	0	24	0	25	0	1
平均	60.40	2.50	27.50	3.00	26.83	3.00	△4	
第7グループ	茂原	0.00	0	57	5	54	4	△3
	東金	72.22	1	18	2	20	3	2
	大原	0.00	0	10	1	10	2	0
	大多喜	56.25	2	6	1	8	1	2
	成田空港南	0.00	0	29	0	26	0	△3
	茂原中央	0.00	0	20	2	24	3	4
大網	80.00	1	30	2	30	2	0	
東金ビュー	72.72	1	13	1	11	1	△2	
平均	35.15	0.63	22.88	1.75	22.88	2.00	0	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2020 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	76.83	5	38	4	36	4	△2
	旭	59.20	3	39	4	38	4	△1
	八日市場	66.50	4	39	3	37	3	△2
	銚子東	66.17	5	30	2	26	2	△4
	平均	67.18	4.25	36.50	3.25	34.25	3.25	△9
第9グループ	佐原古	100.00	1	46	0	44	0	△2
	多古	85.71	2	19	0	17	0	△2
	小見川	86.36	1	26	0	28	0	2
	佐原香取	0.00	0	20	0	20	0	0
平均	68.02	1.00	27.75	0.00	27.25	0.00	△2	
第10グループ	成田	91.13	4	64	4	60	5	△4
	八街	79.31	1	29	3	28	3	△1
	印西	72.55	4	14	1	11	1	△3
	白井	69.23	2	11	1	13	1	2
	富里	55.30	2	33	1	33	1	0
成田コスモポリタン	54.72	2	71	0	71	0	0	
平均	70.37	2.50	37.00	1.67	36.00	1.83	△6	
第11グループ	柏	46.48	4	64	8	63	9	△1
	我孫子	65.62	5	32	3	32	3	0
	柏西	72.02	2	58	3	62	3	4
	柏東	78.13	1	34	5	33	5	△1
	柏南	70.27	1	39	9	38	9	△1
平均	66.50	2.60	45.40	5.60	45.60	5.80	1	
第12グループ	習志野	64.29	3	31	1	31	1	0
	八千代	95.83	1	54	0	54	0	0
	佐倉	74.29	1	36	2	35	2	△1
	八千代中央	66.20	2	26	1	26	1	0
	四街道	74.07	4	27	4	27	4	0
	習志野中央	52.27	2	45	5	45	5	0
佐倉中央	60.87	2	23	6	23	6	0	
平均	69.69	2.14	34.57	2.71	34.43	2.71	△1	
第13グループ	松戸	0.00	0	60	0	62	0	2
	松戸東	100.00	1	44	0	46	0	2
	松戸北	56.52	1	33	0	31	0	△2
	松戸中央	62.13	1	37	7	37	7	0
	松戸西	80.56	4	27	0	27	1	0
平均	59.84	1.40	40.20	1.40	40.60	1.60	2	
第14グループ	野田	80.70	1	55	6	57	6	2
	流山	0.00	0	16	3	16	3	0
	野田東	87.04	3	18	0	18	0	0
	流山中央	0.00	0	20	1	20	1	0
	野田セントラル	0.00	0	24	1	23	1	△1
平均	33.55	0.80	26.60	2.20	26.80	2.20	1	

クラブ数 82RC		
2020 年 7 月 1 日	地区会員数	2,726 人
2021 年 3 月 末 日	地区会員数	2,696 人
2020 年 7 月 1 日	地区女性会員数	205 人
2021 年 3 月 末 日	地区女性会員数	211 人
当月平均出席率		63.61%
増減		△30
女性会員増減		6

物故会員（啓称略）



石毛 哲夫（小見川 RC）
 逝去日：2020 年 6 月 24 日（享年 80 歳）
 ロータリー歴：1996-97 クラブ会長
 1997-98 分区代理



岩瀬 文夫（勝浦 RC）
 逝去日：2020 年 9 月 29 日（享年 87 歳）
 ロータリー歴：1995-96 クラブ会長



篠澤 正（浦安ベイ RC）
 逝去日：2021 年 1 月 18 日（享年 74 歳）

2020 学年度 米山記念奨学生修了式報告

国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度（公財）ロータリー米山記念奨学会委員会 委員長 鈴木 荘一（君津 RC）

3月13日（土）15時より三井ガーデンホテル千葉において2020学年度米山記念奨学生の終了式が開催されました。地区より漆原摂子ガバナーと梶原等ガバナーエレクトが、また（公財）米山記念奨学会評議員宇佐見透パストガバナーにもご来賓としてご参席頂き祝辞を頂きました。終了式の中で一年を振り返る映像はネパール人奨学生のプタサイニ タマン サジナさん（千葉幕張 RC 東京情報大学）に製作して頂きました。

送辞では中国からの奨学生、韋琨さん（習志野中央 RC 千葉工業大学）が「皆様は今、1年間の奨学生生活を様々な思いで振り返っていらっしゃると思います。初めての出会い、奨学生との交流、研修会や仲間との何気ない会話、カウンセラーの言葉など、コロナの影響があるけれど、かけがえのない思い出が数限りなく浮かんできていることでしょう。時に笑い、悩み、悲しみ、そして喜び、仲間と分かち合ったこと、クラブからのお世話。それらの思い出は、皆様の心に深く刻まれるとともに、これからの人生にとっては、きっと宝物のような存在になっていくのではないのでしょうか」と終了する奨学生に新たな旅立ちへのお祝いの言葉をいただきました。そして、答辞ではベトナムからの奨学生ヴァーディゴックアインさん（千葉北 RC 東京成徳大学）が「私たち、留学生にとって日本での学生生活は大変ですが、ロータリー米山記念奨学会のおかげで、勉学、就職活動と忙しい中でアルバイトの時間を減らしても生活することができ、勉強に集中して取り込むことができました。奨学金をいただいたことで、自分の中に余裕ができ、以前より一層深い学びができました。また、米山奨学生になって、世界中から集まった留学生と交流することができて、奨学金だけではなく、いろいろ有意義な体験も私たちの大きな財産です。これから日本で学んだこと、体験したことを生かして社会の一員として貢献していきたいです。」とカウンセラーをはじめ世話クラブ、地区会員皆様への感謝の言葉を述べました。

私たち地区委員会の役目は奨学生、カウンセラー、



奨学生の所属する学校の教官の「交流のステージ」である世話クラブをバックアップしていくことです。将来のリーダーと成り得る奨学生が新しいつながりを持ちロータリーの多様性を広げる役割をサポートすることを心掛けて運営してまいりました。カウンセラーはじめ世話クラブの会員皆様には、奨学生が無事にプログラムを終了し、米山学友会の一員としてロータリーファミリーとして迎え入れることが出来るようになったことに心からの感謝とお祝いを申し上げます。

今回終了した奨学生には、ほんの小さなことでも構いません。日々の生活の中でまず“他人のために”と思う習慣を意識して頂き、さらに踏み込んで、その思いを実践して、その一步一步で皆さんの人生がより広く深くなればという思いです。終了式の冊子のように何の隔てのない大空と大海原を、世界を股にかけて、母国と日本との懸け橋として世界平和のためにご活躍ください。可能性ある奨学生皆さんが米山奨学会の理念に共鳴し、そして共振して、更にご活躍することをご祈念申し上げご挨拶とします。





ロータリー学友による被災地復興チャリティーコンサート開催のご報告



ロータリー学友連絡小委員会
委員長 井上 大輔 (習志野中央RC)

3月21日(日)16時から「ロータリー学友による被災地復興チャリティーコンサート」を開催いたしました。コロナ禍での開催のため、現地会場であるプラッツ習志野市民ホールとZoomウェビナーによるリモートを併用して皆様にご参加いただきました。

現地会場へお越しの皆様、そして、リモートでご覧の皆様、チャリティーコンサートを楽しんでいただけましたでしょうか？ 開始直後にリモートでご覧の皆様には音が届かないという不具合がでてしまったこと、心からお詫び申し上げます。

事前登録いただいた人数が約170名、当日の現地会場で鑑賞いただいたのが40名、リモート鑑賞いただいたのが約70名と本当に沢山の方々にご参加いただきました。心温まるチャリティーをいただいたロータリアンの皆様、そして学友の皆様、そして出演者、関係者の一般の皆様方には、心から感謝を申し上げます。また、関東近県のロータリアンの皆様、各学友会の皆様、そして北海道から静岡県まで広域の皆様方からもご支援をいただきました。

皆様からお寄せいただいたチャリティーから収益金の767,367円を、ガバナー事務所を通じて、ロータリー希望の風奨学金(ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会)へご寄付させていただきました。

2011年3月11日の東日本大震災から、10年の節目を迎えました。「ロータリー希望の風奨学金」は東日本大震災により被災遺児となった青少年たちに、少しでも学業を継続できるような教育支援をする奨学金事業です。今回のコンサートには、元希望の風奨学生の久我理亜さんにフランスからリモート出演いただき、素晴らしい演奏と共に奨学金のこと、ご自身の体験、これからの夢をお話していただきました。今後ともみなさまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、今回のコンサートは約30名のロータリー学友の皆さんに、出演者・運営スタッフとして参画をしていただき、手作りしてきたイベントでした。ローターアクト、米山奨学生・学友会、ROTEX、財団学友会、ロータリー学友連絡協議会、皆さんのおかげでコンサートが開催できました。学友の皆さんが交流し、それぞれの役割を担っていただけたことが、頼もしく、嬉しく思いました。今後も各学友の絆を強くして、イベント・プロジェクトを共に創っていただければと思っております。また、地区の委員会の枠を超えて運営スタッフとして15名の地区委員の皆様にご協力いただきました。改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、当地区のロータリー学友の活動に、今後とも、皆様方の温かいご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

